

快乐学日语

社会篇

刘 文柱
铃木 义昭 编 著
大川 育子

北京大学出版社

图书在版编目 (CIP)数据

快乐学日语:社会篇/刘文柱等编著.-北京:北京大学出版社,
1998.7

ISBN 7-301-03340-0

I. 快… II. 刘… III. 日语-口语 IV. H369.9
中国版本图书馆 CIP 数据核字(97)第 03152 号

书 名:快乐学日语(社会篇)

著作责任者:刘文柱 铃木义昭 大川育子

责任编辑:许耀明

标准书号:ISBN7-301-03340-0/H·347

出版者:北京大学出版社

地 址:北京市海淀区中关村北京大学校内 100871

电 话:出版部 62752015 发行部 62754140 编辑部 62752032

排 版 者:北京华伦公司排版部 62756343

印 刷 者:中国科学院印刷厂

发 行 者:北京大学出版社

经 销 者:新华书店

850×1168 毫米 32 开本 7.5 印张 200 千字

1998 年 8 月第一版 1998 年 8 月第一次印刷

定 价:15.00 元

目 次

第一課	囲碁と将棋	1
第二課	うちの会社	14
第三課	中流意識	22
第四課	ウサギ小屋	33
第五課	自由と責任	44
第六課	茶腹も一時	53
第七課	病気見舞い	64
第八課	校史陳列室	75
第九課	教育ママ	84
第十課	デインクス	91
第十一課	男のエゴ	103
第十二課	汝自身を知れ	112
第十三課	人を羨むなかれ	122
第十四課	老後の生活	133
第十五課	漢方医学	146
第十六課	日本の休日	157

第一課 囲碁と将棋

坂本：劉さんは、囲碁をなさるんですか。

劉：ええ、少し。坂本さんは。

坂本：今、テレビの囲碁講座を見て、勉強しています。ルールは中国と同じですか。

劉：はい、同じだと思います。

坂本：中国でも、その人の実力を初段、二段のように言いますか。

劉：はっきりわかりませんが、日本との定期囲碁選手権などでは、日本の習慣に合わせて聶九段などと呼ぶこともあります。

坂本：囲碁は中国で生まれたのだそうですね。

劉：はい、堯という伝説上の皇帝が自分の息子の教育のために作ったと言われています。序盤で世界観を構想し、中盤で戦いがあり、終盤で戦いを収めて行くやり方は、政治に通じるところがあるんでしょうね。

坂本：話は違いますが、以前中国旅行をしたとき、公園などで中国将棋を指している人を見ましたが、駒の名前や働きはよく似ているのに、指し方が違っていましたよ。

劉：日本の将棋では、相手の駒を取れば、それを自分のものとして、どこでも自由にきすことができるそうです。

が、これが一番大きな違いだと思います。

坂本：変化が大きいということです。これが将棋を面白くしています。コンピュータでも読み切れないそうです。西洋のチェスにもない珍しいやり方だと聞いていますよ。

劉：若いスターが出て、将棋人口が増えたそうですね。

坂本：羽生善治という若い人です。六大タイトルを独り占めしたんです。

劉：そうですか。今度、日本の将棋を教えてください。

坂本：いいですよ。ついでに、囲碁の方も一局打ってみませんか。

新出単語

囲碁[いご](名) 囲碁

将棋[しょうぎ](名) 将棋、日本象棋

中国将棋[ちゅうごくしょうぎ](名) 中国象棋、象棋

囲碁講座[いごこうざ](名) 囲碁講座

ルール(名) 規則、章程

実力[じつりょく](名) 実力

初段[しょだん](名) 初段

定期囲碁選手権[ていきいごせんしゅけん](名) 定期囲碁冠軍争奪賽

習慣[しゅうかん](名) 習慣

聶九段[じょうくだん](名) 聶九段

堯[ぎょう](名) 帝堯、唐堯

伝説上[でんせつじょう](名) 伝説中

皇帝[こうてい](名) 皇帝
息子[むすこ](名) 儿子
教育[きょういく](名) 教育
序盤[じよばん](名) 开局
世界観[せかいかん](名) 世界观
中盤[ちゅうばん](名) 中局
終盤[しゅうばん](名) 终局
収める[おさ〜](他下一) 取得、获得
指す[さ〜](他五) 指、指示、指向
駒[こま](名) 棋子
相手[あいて](名) 对方、对手
自由[じゆう](名) 自由
一番[いちばん](名・副) 第一、首要、最
変化[へんか](名) 变化
面白い[おもしろ〜](形) 有趣、可笑、新奇
コンピュータ(名) 计算机
読み切る[よ〜き〜](他五) 读完、念完、判断
西洋[せいよう](名) 西方
チェス(名) 国际象棋。
スター(名) 星、明星
人口[じんこう](名) 人口
羽生善治[はぶよしはる](名) 羽生善治
六大タイトル[ろくだい〜](名) 六大头衔
独り占めする[ひと〜じ〜](他サ) 独占
ついでに(副) 顺便、就便
一局[いっきよく](名) 一局

文 法

1. ええ(前の各文に対応して)→嗯、是、对、好(与前文各句相对应)

- ① ええ、北京で習って以来、やみつきになりました。
嗯,自从在北京学了以后,我就着了迷。
- ② ええ、例えば、ここにある上質紙を使ったりします。
对,譬如使用这里的上等纸。
- ③ ええ、これは家族にも内緒なんですよ。
是的,这件事对家里人也保着密呢。
- ④ ええ、ありがとう。早速、行ってきます。
好,谢谢。我快去快回。

2. はい→是、好、行、对

- ① はい、私が本人です。
是,我就是本人
- ② はい、住所は変わっていません。
对,住处没有变。
- ③ はい、滝沢商店でございます。
是的,是泷泽商店。
- ④ はい、今、すぐ行きます。
好,现在马上就去。

3. ~だと思う→认为是……、觉得是……

- ① 海は穏やかだと思います。
我想海上还平静。
- ② 静かだと思ったら、この子、眠っていますよ。

我还以为他安静下来了,原来这孩子睡着了。

③彼の意見が妥当だと思う人は何人いますか。

认为他的意见妥当的有几个人?

④伊藤さんの主張は机上の空論だと思います。

我认为伊藤先生的主张是纸上谈兵。

4. ~を~のように言う(呼ぶ)→把……叫做(称为)……

①台風を女の人のように呼ぶようになったのはいつからだろうか。

从什么时候开始,把台风比喻为女人了?

②コックの腕前は一級調理師、二級調理師のように言うそうです。

据说厨师的能力分为一级厨师、二级厨师等。

③生活協同組合のことを生協のように略に呼ぶことがあります。

有时把生活协同组合简称为生协。

④人を等級に分けて製品のように呼ぶのには抵抗があります。

对于把人像产品那样,划分成等级,我很反感。

5. ~だそうだ→据说……

①茶道は中国から伝来したものだそうだよ。

据说茶道是由中国传来的。

②彼は北京に暮らしたことがあるそうですね。

据说他曾在北京住过。

③彼女は結婚したそうですが、姓を変えないのですか。

据说她结婚了,可姓氏没有改吗?

④日本では夫婦は同姓でなくてもいいそうですね。

据说在日本夫妇不同姓也行,是这样吗?

6. ~ね→(续助词)呀、吧。

①茶道は日本固有の芸術だと思っている人もいますでしょうね。

也有人认为茶道是日本固有的艺术吧。

②彼女は夏には日本に帰ってくるそうですね。

据说夏天她回到日本来呀。

③法律を変えるのはなかなか大変ですね。

改变法律是相当难的呀。

④パソコンは組み立てるのが難しそうですね。

组装电脑好像很难吧。

7. ~のために~(する)→为(了)……而……

①日中友好のために尽したいと思います。

我想为日中友好尽力。

②あなたのために作ったのだから少し食べてください。

是为你做的,吃点吧。

③夢の実現のためにには努力を惜しんではいけない。

为了实现理想惜力可不成。

④ピアノの練習のために部屋を防音にしたいのです。

为了练习钢琴,我想把房间改造成隔音的。

8. ~と言われている→被称为……、被说成……、人们说……

①世間では立派な紳士と言われていますが、家の中ではただ
. だっ子なんです。

在外面人们都说(他)是个正经的绅士,在家里却是个顽皮的孩子。

②景德镇生産の磁器は中国の磁器製品の代表と言われています。

景德镇生产的瓷器被称为中国瓷器制品的代表。

③この木は百五十年前からここにあったと言われている。

人们说这棵树自一百五十年前就在这里了。

9. ~に通じるところがある→与……有相通之处

①語学の勉強は登山に通じるところがあります。

语言的学习与登山有相通之处。

②子供の遊びはすべて芸術に通じるところがあるのです。

孩子们的游戏全部有与艺术相通的地方。

③河野さんの考え方にはキリスト教に通じるところがありますね。

河野先生的想法与基督教有相通的地方。

10. ~でしょう→大概是……、或许是……

①早稲田大学は私立大学なんでしょう?

早稻田大学大概是私立大学吧?

②漢字圏の諸国は中国の思想の影響を受けてきたでしょう?

汉字区域中的各个国家大概都受到了中国思想的影响吧?

③あなたはどんなに反対されても行くつもりでしょう?

你大概不管受到怎样的反对也还是打算去吧?

④日本は物価も高いし、暮らしにくいところもあるでしょう？

日本不仅物价高,而且还有生活不方便的地方吧?

11. 話は違いますが→换个话题……、却说……

①話はちがいますが、ご出身は山形県だそうですね。

我想插一句,听说您出生在山形县。

②話はちがいますが、小川君の奥さんは糖尿病だそうですよ。

我想换一个话题,据说小川先生的夫人得的是糖尿病呀。

③話はちがいますが、このごろの女生徒の服装は奇怪だな。

我想说一句离题的话,近来女学生的服装怪里怪气的。

④話はちがいますが、新聞小説は読んでいますか。

再说,您读过报刊的连载小说吗?

12. 以前～した時→以前……时

①以前会った時はもっとふっくらしていたのに、やせましたね。

以前见到你时,你是胖乎乎的,现在可瘦多啦。

②山田さんは、以前話した時は中国語が流暢だったが、今は片言です。

山田先生以前汉语讲得很流利,现在却吭吭哧哧的。

③以前見た時、その本はたしかに五百円で店頭に出ていました。

以前看到时,那本书在柜台上的确是五百日元。

④以前北京に行った時、初めて太極剣という武術を知りま

した。

以前去北京时,才开始对太极剑这种武术有所了解。

13. ～のに→(接续助词)却、倒

①その双子は、顔はそっくりなのに、性格は違います。

这对双胞胎长得一样,但性格不同。

②せっかく合格したのに、手続きが間に合わず、入学できませんでした。

虽然好不容易考试合格了,但由于手续没有来得及办好,所以没能入学。

③何度も教えたのに、まだ覚えられないのですか。

教你这么多次啦,你还记不住吗?

④両親は立派なのに、息子が墮落してしまったのは、どういいうわけだろう。

父母很正派,儿子却墮落了,这是什么原因呢?

14. ～ものとして→作为……东西……

①学校のものとして購入しましたので、家に持って帰ったりしてはいけません。

(这)是作为学校的東西买来的,不允许拿到自己的家去。

②この公園は個人のものでなく、国のものとして保護すべきだと思います。

这所公园不是个人的,而是国家的財物,我认为,我们应该爱护它。

③天使はこの世で最も価値あるものとして「幸福の王子」の心臓を神に届けました。

天使作为凡世最珍贵的东西,把“幸福王子”的心脏送到

了上帝面前。

- ④彼の心ばかりのプレゼントをありがたいものとして素直に受け取ったが、それがまさか盗品だったとは!

我很实在地把他的礼物当作一片真情接受了,可万万没有想到它竟是赃物!

15. どこでも～できる→在哪儿都能……

- ①電話を持ち歩いて、どこでも話ができるというのは便利です。

带着电话走,在哪儿都能通话,的确方便。

- ②いつでもどこでも危ない時はこのベルを鳴らして助けを呼ぶことができます。

无论何时何地遇到了危险,敲响这个铃就能呼救。

- ③ラジオはどこでも聞くことができるといっても、地下鉄の中ではどうですか。

虽说半导体收音机在哪儿都能收听,但到了地铁里会怎么样呢?

- ④電話のある場所ならどこでも国際通話できるというわけではありません。

并不是只要有电话的地方哪儿都能打国际电话。

16. ～ということだ→(表示说明)即……

- ①不景気で、当社の来年の採用はないということです。

由于不景气,本公司明年不准备录用新人。

- ②ボーナスは昨年並みということで、労資双方は納得しました。

劳资双方取得了一致意见,即今年的奖金与去年相同。

③中途採用もないということでしょうか。どうしても入社したいのですが。

平时不录用新人吗？可我特别想进公司工作。

④今回の事件で改めて認識したのは、テロには決して屈しないということだった。

通过这次事件，我们重新认识到，对于恐怖行动决不能屈服。

17. ～と聞いている→听说……

①彼はテニスが一番好きだと聞いています。

听说他最喜欢网球。

②日本人は閉鎖と聞いていたが、実際に暮らしてみると、そうでもないかな。

听说日本人性格不开朗，但到日本生活了一段时间后，觉得并不是那样。

③松本さんのお母さんは中国人だと聞いています。

听说松本母亲是中国人。

④シーズーは中国が原産で、皇帝に愛されたと聞いています。

据说，狮子狗原产于中国，过去很受皇帝的喜爱。

18. ついでに→顺便、就便

①上海に行くついでに、香港に寄って買物しましょう。

去上海时，顺便到香港买点东西吧。

②買物のついでに、ポストに手紙を出してきてください。

你去买东西时，请顺便替我把信投到邮筒里。

③ついでに雑用を片付けてきますから、帰りはちょっと遅

くなるかもしれません。

我就手把杂事处理一下，因此回去可能会稍晚一点

④ ついでに行くつもりだったが、雨が降ってきたのでやめました。

原打算顺便去的，因为下起了雨，就作罢了。

19. ～てみませんか→不试试……吗?、……试试吧

① あなたもパソコンをやってみませんか。

你也不想试试用一下电脑吗。

② 富士山に登ってみませんか。 途中までは車で行けます。

不去登一下富士山吗? 汽车可以开到半山腰。

③ 自分史を書いてみませんか。 気負わず淡々と記憶を書いていけばいいのです。

不想写写自己的小传吗? 这用不着着急，简单地写写自己记忆中的事情就可以了。

④ 太極拳をやってみませんか。 体にいいですよ。

不想练练太极拳吗? 这可对身体有好处呀。

参考译文

第一课 围棋和象棋

坂本：刘先生，您下围棋吗?

刘：不太下。坂本先生呢?

坂本：近来我在跟着电视讲座学。规则与中国的一样吗?

刘：是的，我觉得一样。

坂本：中国也把棋手的实力分为初段、二段什么的吗?

刘：我虽然不太了解，但在与日本的定期围棋比赛中，按日本的习惯也有类似聂九段的叫法。

坂本：据说围棋最早诞生在中国。

刘：是的。好像是传说中叫作尧的皇帝为教育自己的儿子发明的。开局构思世界观(布阵)、中局激战、终局结束战斗。这种运筹方法与政治有相通的地方。

坂本：另外，以前我来中国旅行时，在公园里看到了下象棋的人，棋子儿的叫法和作用与日本的很相似，但下法不同。

刘：在日本象棋中，好像可以把对方的棋子儿吃掉后变成自己的，能够自由地行走。这是与中国象棋的最大不同。

坂本：起伏跌宕，使象棋变得更好玩了。据说计算机也无法判断。听说，这是西方的国际象棋中也没有的少见的下法。

刘：据说日本出了一名年轻的棋星，下象棋的人多了起来。

坂本：那是一个叫作羽生善治的年轻人，他一人独占了六大头衔。

刘：很有意思。以后您教我下日本象棋吧。

坂本：好，顺便咱俩也在围棋上比试一下。

第二課 うちの会社

劉：日本のサラリーマンは、自分の勤めている会社のことを「うちの会社」と呼んでいますね。

大川：ええ。銀行員やデパートに勤めている人は、自分の勤務先のことを「うちの店」、工場の労働者は、「うちの工場」なんて言います。

劉：他にはどうですか。人間にも付けられますか。

大川：もちろんです。「うちの社長」、「うちの支店長」などとも言えます。

劉：「うち」は「外」に対する言い方ですよ。

大川：日本人は自分が帰属している範囲の中のものを「うち」といい、範囲外を「外」と呼んで区別をします。そこには当然親しみの感情が込められていますね。だから、奥さんがご主人の会社を「うちの会社」と言ってもいいわけです。

劉：では、小さい子どもも使いますか。

大川：ええ。でも、子どもの場合、生活の範囲が狭いので、「うち」は文字通り「家」のことが多いようです。例えば、「うちのママ」、「うちのおじいちゃん」という具合にね。

劉：中国では、あまり言わないようですね。